

# 令和7年度 香川県職業能力開発審議会議事録

日時：令和8年3月16日（月）

14時30分～15時30分

場所：県庁本館12階 第1・第2会議室

## 1 会議の日程及び場所

日時：令和8年3月16日（月）14時30分～15時30分

場所：県庁本館12階 第1・第2会議室

## 2 出席委員

〔学識経験者委員〕

梶島委員、小島委員、西中委員、西村委員、山田委員

〔事業主代表委員〕

白井委員、平尾委員、堀委員、吉田委員

〔労働者代表委員〕

中村委員、西川委員、林委員、増田委員、渡辺委員

以上、香川県職業能力開発審議会委員（以下「委員」という。）15人中14人の出席につき、香川県職業能力開発審議会条例第5条第2項に定める「委員の2分の1以上」の出席の会議開催要件を充足した。

## 3 会長選任

令和7年7月30日付け委員改選後、初の審議会であるため、会長の選任を実施した。なお、会長の選任については、審議会条例第4条第2項の規定により「学識経験のある者として任命された委員のうちから、委員が選挙する。」こととなっている。

委員から意見を求めたところ、「委員改選前から引き続き、西中委員が適任と考える。」との意見が出された。

他委員に諮ったところ、異議はなかったため、西中委員が会長に選任された。

審議会条例第5条第1項に基づき、西中会長が議長席に着き、以後、議長を務めた。

西中会長が、吉田委員及び渡辺委員を議事録署名人に指名した。

## 4 議題

- (1) 高等技術学校職業訓練実施状況等について
- (2) 第11次香川県職業能力開発計画（数値目標）の進捗状況について
- (3) 高等技術学校の再編整備について
- (4) 次期「第12次香川県職業能力開発計画」の策定について
- (5) その他

## 5 議事録

議題 (1) 高等技術学校職業訓練実施状況等 及び 議題 (2) 第11次香川県職業能力開発計画 (数

#### 値目標）の進捗状況 について

- 議長が「高等技術学校職業訓練実施状況等」及び「第 11 次職業能力開発計画（数値目標）の進捗状況」について事務局に説明を指示した。
- 事務局が配付資料（資料 1 ～14 ページ）に基づき説明した。
- 議長が、委員に事務局の説明に対する質疑・意見を求めた。

#### （委員）

高等技術学校の施設内訓練の実施状況について伺う。参考資料 1 のグラフを見ると、人気のある自動車工学科などでは定員以上の応募があるにもかかわらず、入校者数が定員を下回っている。この主な要因は何か。

#### （事務局）

自動車工学科は、最終的に自動車整備士 2 級を取得することを目的として訓練を行っている。そのため、応募者一人ひとりについて、訓練を修了し資格取得まで到達できるかどうかを選考によって総合的に確認しているため、結果として実際の入校者数が定員に満たない状況が生じている。

#### （委員）

選考の段階で資格取得が見込めないと判断された応募者が一定数いる、という理解でよいか。

#### （事務局）

そのとおりである。

#### （委員）

参考資料 1 によると、建築システム科及び機械システム科で大幅な定員割れが生じている。先ほど「就職状況は良好」との説明があったが、定員割れとの関連はあるのか。

#### （事務局）

両科は新規高等学校卒業者の入校が多いが、近年、入校者数が大きく減少している。背景として、高等学校の工業系学科においても定員割れが生じており、普通科志向の高まり等により、技術系分野への進学を希望しない傾向があると認識している。加えて、少子化の影響の下、高校生に対する求人需要は高く、学校当たりの求人倍率が約 20 倍となっている。

本校技術専門コースの就職率は概ね 100%であり、産業界のニーズに応える人材育成を行っている一方、入校者の確保が課題となっている。県として高等学校への周知を強化しているが、現時点では十分な成果に至っていない。

今年度は「あり方検討委員会」を実施しており、定員の半分程度しか入校者がいない状況や、機械システム科では令和 6 年度の入校者が 1 名のみといった課題を重く受け止めている。来年度、基本計画を策定する中で、訓練科の編成及び定員の見直し等について検討したい。技術専門コースの就職率はいずれもほぼ 100%であり、高い就職率を維持していることが大きな強みで

ある。検討委員会で示された見直しの方向性を踏まえ、適正な定員設定やカリキュラムの見直しを行い、学校の魅力向上と入校促進につなげていく。

### 議題 (3) 高等技術学校の再編整備 及び 議題 (4) 次期「第 12 次香川県職業能力開発計画」の策定 について

- 議長が「高等技術学校の再編整備」及び「次期『第 12 次香川県職業能力開発計画』の策定」について事務局に説明を指示した。
- 事務局が配付資料（資料 15～20 ページ）に基づき説明した。
- 議長が、委員に事務局の説明に対する質疑・意見を求めた。

(委員)

参考資料 2 の「長期高度人材育成コース」について、令和 7 年度から 8 年度にかけて、IT システム科の定員が 6 名から 3 名に減っている。むしろ増やした方がよいと思うが、減員の理由を説明してほしい。

(事務局)

参考資料下部の表に示す各科の充足率を確認いただきたい。長期高度人材育成コースは国からの受託事業であり、令和 5 年度から介護・保育分野を除く各コースの定員合計を 8 名とする計画数が国から示されている。令和 5 年度から令和 7 年度までの内訳は、美容科 2 名、IT システム科 6 名としていた。

一方、美容科の充足率は 100%であるのに対し、IT システム科は令和 5 年度・6 年度とも充足率が約 33%と低い状況にある。こうした実績を踏まえ、IT システム科の定員を減員し、その分、美容科の定員を増員した。

IT 分野の訓練では、内容が高度なため、受講者が十分に確保できないという課題があった。民間の教育訓練機関に委託しているが、提供可能な訓練が高度な内容に限られていた。現在進めているあり方検討を踏まえ、受講者の習熟度に応じた訓練を段階的に設定する必要があると考えている。来年度の基本計画の策定に当たり、定員確保に努めるとともに、AI 関連企業との連携協定も活かし、レベルに応じた多様な訓練を展開していきたい。

(委員)

資料 16 ページに記載されているあり方検討委員会にて検討された高等技術学校における訓練の方向性に「企業ニーズに応じた在職者訓練の充実強化を図る」とある。県内の建設関連業界でも人手不足が課題となっている。工学部出身者が初任給の高い他業種に流れる一方で、文系出身者の中にも技術系の仕事をしたいと考える人がいる。高校や大学を卒業し、企業に入社した方が、企業に所属したまま訓練期間が 2 年間の技術専門コースを受講することは可能か。

また、高等技術学校のさんテク祭（学校祭）に参加した方から、女性の利用を想定したトイレなどの設備面について改善を求める意見があったと聞いている。今後の検討に当たっては、こうした観点も検討課題に加えていただきたい。

(事務局)

技術系人材が県外や初任給の高い他業種に流出している現状は深刻な課題である。企業に所属したまま 2 年間の技術専門コースに通うことについて、関係法令上、支障はない。今後、年齢制限を撤廃し、40 代以上の方でも入校できるようにする予定である。1 日 6～8 時間の訓練となるため、所属企業が 2 年間在籍したままの受講を許可し、給与の支払い等に理解を示していただければ、高校や大学を卒業し、企業に入社した方でも入校可能である。

設備面について、高松校は建て替えにより洋式トイレなど綺麗な校舎になるが、丸亀校は空調機器の整備やトイレの洋式化が不十分であると指摘を受けている。丸亀校の設備を活かす場合でも、水回りや空調などを整備し、若年層や女性を含む利用者にとって魅力のある環境づくりに取り組んでいきたい。

(委員)

先ほど、IT 分野の訓練科は内容の難易度が高いこと等により入校者が伸び悩んでいる旨の説明があった。一方、全国的に高等専門学校では機械系の人気は低下し、情報系学科の志望が増加する傾向にあると聞いている。県内ではデータセンターの開設や AI 関連企業との連携協定の締結等により、情報系・IT 人材への需要は今後高まると見込まれる。中高生が関心を持つような魅力ある IT 系コースを整備すれば、入校者の増加につながるのではないかと。

(事務局)

ご指摘のとおり、県内にデータセンターがオープンし、AI 関連企業との協定も結ばれたことで今後、AI・IT 人材の需要は一層高まると見込まれる。このため、県内で高い教育実績を有する高等専門学校とも連携し、レベルに応じた多様な訓練を展開することで、AI・IT 人材の育成につなげていきたい。

(委員)

建築系や機械系の充足率が芳しくないとの指摘があったが、他の技術系の学校においても全国的に学生募集に苦戦している。機械系で応募が多いのは地元で大企業が集積している地域に限られ、地方では求人が増える一方で応募は減っており、共通の課題となっている。

在職者しながら受講できるコースについて、他の学校でも力を入れ始めていると聞いている。企業の中には「こうした学校に通って勉強できるチャンスがある」ことを求人のアピールポイントにしているところもある。企業と学校が連携し、こうしたコースの存在を明示的にしていくことが有効ではないかと。

また、あり方検討委員会において、委員から「教えている技能や機器が古い」との指摘があった。昔ながらのスタンダードなカリキュラムを一通りこなして就職活動をするというやり方は時代に追いついていない。企業の方に学校で指導してもらったり、訓練生を企業でのインターンシップに受け入れてもらうなど、習得する技能の意義や将来のイメージを明確に持てるカリキュラムにするべきである。企業との連携をさらに強めれば、既存の施設・指導体制の有効活用にもつながる。

(事務局)

ご意見のとおり、企業と受講者のマッチングを早期から進めることは重要であると認識している。また、人生 100 年時代において、高度なスキルを持って企業を退職した 60 代・70 代の方に高等技術学校で外部講師として指導していただくなど、技能の伝承も重要であると考えている。インターンシップを含めた企業との連携については非常に重要であると認識しており、引き続き検討を進める。

(委員)

高等技術学校の指導員のうち、女性の割合はどの程度か。また、在校生の男女比はどのようになっているか。

(事務局)

現在、高等技術学校の指導員は女性が 3 名、男性が 20 数名在籍している。在校生の男女比について、令和 7 年度の施設内訓練では、女性が約 4 割、男性が約 6 割である。

(委員)

先ほど、女性や障害のある方の受入れを増やしたい旨の説明があり、トイレ等の施設面についても指摘があった。女性が安心して学べる環境整備を進めなければ、女性の入校促進は難しいのではないか。例えば指導員に女性を増やすことにより、女子生徒が入校しやすくなる可能性があると考えます。

また、現行の技術専門コースのパンフレットは男性向けの印象がある。広報にあたっては SNS やホームページ等の情報発信も重要であり、男女を問わず親しみやすいデザインや内容に見直すことで、応募増につながるのではないかと。

(事務局)

ご指摘のとおり、技術専門コースのパンフレットについては男子学生の写真が多く、結果として男性向けの印象となっている点は改善が必要と認識している。入校者の一定割合を女性が占めていることも踏まえ、新卒者向けコースを含め、女性にも入校してもらいやすい体制整備と情報発信の見直しを進めたい。施設面についても、女性の利用を想定した設備の充実を含め、安心して利用できる環境整備を検討していく。

#### 議題 (5) その他

- 議長から、県の職業能力開発全般について質疑、意見等を委員に求めた。

(委員) 特になし

# 令和7年度 香川県職業能力開発審議会 次第

日 時：令和8年3月16日（月）14：30～

場 所：香川県庁本館12階 第1・第2会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 題

### (1) 会長の選任について

### (2) 高等技術学校職業訓練実施状況等について

- 職業訓練の概要 . . . . . 1～4ページ
- 職業訓練の実績 . . . . . 5～7ページ
- 令和8年度計画 . . . . . 8～9ページ

### (3) 第11次香川県職業能力開発計画（数値目標）の進捗状況について

- 第11次香川県職業能力開発計画の概要 . . . . . 10～13ページ
- 第11次香川県職業能力開発計画（数値目標）の進捗状況 . . . . . 14ページ

### (4) 高等技術学校の再編整備について

- 香川県立高等技術学校あり方検討委員会の概要 . . . . . 15～17ページ
- 高等技術学校再編整備の基本方針 . . . . . 18～19ページ

### (5) 次期「第12次香川県職業能力開発計画」の策定について

- 策定の概要 . . . . . 20ページ

### (6) その他

## 5 閉 会

### ※参考資料

- ・職業訓練の実績（詳細） . . . . . 参考資料1
- ・令和8年度香川県地域職業訓練実施計画の策定方針について . . . . . 参考資料2
- ・香川労働局 労働市場の動向 . . . . . 参考資料3
- ・香川県立高等技術学校関係資料 . . . . . パンフレット3種
- ・四国職業能力開発大学校関係資料 . . . . . パンフレット1種
- ・香川職業能力開発促進センター関係資料 . . . . . パンフレット1種

# 高等技術学校の概要

○ 職業能力開発促進法第16条により、県に職業能力開発校の設置を義務付け。香川県立高等技術学校は条例により設置。高松校と丸亀校の1校2キャンパス。



①高等技術学校高松校  
(昭和40年現在地へ移転)



②高等技術学校丸亀校  
(昭和25年現在地へ移転)



## 訓練コースについて

高等技術学校

施設内訓練

技術専門コース

訓練期間 2年  
対象者 新規高卒者及び40歳未満の離転職者  
訓練分野 電気、自動車、建築、機械

求職者向けコース

訓練期間 2か月～1年  
対象者 新規中卒者及び離転職者  
訓練分野 電気、建築、機械、塗装、造園、デザイン など

キャリアアップコース  
(在職者訓練)

訓練期間 2日～10日間  
対象者 在職者  
訓練分野 電気、溶接、機械製図、パソコン講習など

委託訓練  
(施設外訓練)

就職促進コースなど

訓練期間 1か月～2年  
対象者 主に離職者  
訓練分野 パソコン、OA事務、医療事務、介護、IT など

高等技術学校における職業訓練の概要 (R7.4.1現在)

【学卒者及び求職者対象施設内訓練】

入学金 授業料 (円)	対象者	訓練 期間	入校月	校名	訓練科名	定員	訓練内容	取得可能な資格
5,650 年118,800	高等学校 新卒者等 40歳未満 の高卒資格 を有する 離転職者	2 年	4月	高松 校	電気システム科	15人×2学年	・電気工事、電気・機械訓練、消防設備、安全衛生等に関する座学 ・模擬家庭を使用した電気配線や空調設備工事の実習 ・パソコンの基本操作、パソコンによる電気制御回路のプログラミング実習、 図面作成に必要なCAD操作の実習等	第1種電気工事士(3年の実務経験要)、第2種電気工事士、工事担任者試験(第2種デジタル通信)、消防設備士甲種第4類、電気系機械保全技能検定3級、表計算技士3級、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育、足場の組立て等作業従事者特別教育
					自動車工学科	20人×2学年	・自動車の構造・性能、電気・電子理論、燃料・潤滑剤、自動車整備関係法令等に関する座学 ・エンジンやミッションの分解組立、ブレーキや電気回路、金属加工等の自動車整備に必要な作業の実習等	二級アーク自動車整備士(修了後受験)、二級ゼーベル自動車整備士(修了後受験)、二級二輪自動車整備士(修了後受験)、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、電気自動車等の整備業務に係る特別教育
					建築システム科	15人×2学年	・建築物の構造や工法、計画・設計技法、安全衛生、建築関係法規等に関する座学 ・模擬家庭を使用した建築施工、内装仕上げ実習、鉄筋型枠施工、測量 ・パソコンによるCAD操作実習、施工計画演習等	2級建築施工管理技士補、建築大工技能検定2級・3級、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、2級建築士(修了後受験+修了後2年の実務経歴要)、足場の組立て等作業従事者特別教育
					機械システム科	10人×2学年	・機械部品の加工や設計、材料、電気工学等に関する座学 ・旋盤やフライス盤を使用した操作方法や機械部品の加工実習 ・ガス溶接やアーク溶接の溶接実習 ・パソコンによる機械部品設計、二次元・三次元CAD操作、旋盤や加工機械の制御プログラミング操作実習等	機械・プラント製図技能検定2級・3級、普通旋盤技能検定2級・3級、機械検査技能検定3級、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育
無料	離転職者	6 か月 ※金属 ものづくり 科は、上記に 加えて7月、 1月	4月 10月	高松 校	塗装技術科	10人	・塗料、自動車塗装、車体構造、金属・建築塗装、建築構造、危険物取扱い、 安全衛生等に関する座学、デザイン概論 ・塗装基本実習、機械操作基本実習、調色調合基本実習、自動車・建築塗装 実習、乾燥実習、デザイン実習	有機溶剤作業主任者、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育
					造園科	30人×2期	・庭園計画、造園施工法、造園植物、造園材料、造園製図に関する座学 ・機械基本作業実習(造園用工具等の取扱い)、植栽基本作業実習(樹木の 移植)、庭園基本作業(竹垣、石工事、エクステリア関係)、栽培基本作 業(整地、剪定)、応用実技造園作業実習(庭園制作)	刈払機取扱作業車安全衛生特別教育、伐木(チェーンソー)取扱特別教育、(以下、希望者のみ)小型移動式クレーン運転技能講習、玉掛技能講習、高所作業車運転技能講習、小型車両系建設機械運転技能特別教育
					デザイン科	10人×2期	・美術デザイン史、デザイン概論、色彩・造形、マケティング、広告概論、DTP概論、 WEB概論に関する座学 ・デッサン、デザイン実習、PC実習、DTP実習、WEB実習、応用実習	色彩検定3級、Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード、Photoshopクリエイター能力認定試験スタンダード
					建築施工CAD科	20人×2期	・建築学概論、建築施工技術概論、建築施工管理概論、建築関係法規などに関する 座学 ・建築施工実習、建築CAD実習、測量基本実習等	2級建築施工管理技士補(修了後受験)、建築CAD検定3級、足場の組立て等作業従事者特別教育、低圧電気取扱特別教育
					金属ものづくり科	5人×4期	・機械工学概論、NC工作概論、機械工作法、機械材料、溶接技術一般、製図などに 関する座学 ・安全衛生作業法、測定及び手仕上げ実習、切削加工実習、NC加工実習、ガス 溶接・溶断実習、アーク溶接実習、OA機器操作実習等	日本溶接協会溶接技能者評価試験(SN-2F)、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育、足場の組立て等作業従事者特別教育
					パソコンCAD科	15人×2期	・CAD概論、機械製図、機械工学概論、情報リテラシーに関する座学 ・製図基本実習、二次元・三次元CAD操作実習、OA機器操作実習、測定・加工実習 等	機械・プラント製図技能検定3級、CAD利用技術者試験2級、ワードプロセッサ技士3級、表計算技士3級
					情報ビジネス科	22人×2期	・簿記会計、OA機器の基礎知識、ビジネスカード、ビジネス文書、安全衛生などに 関する座学 ・簿記及び会計実習、OA機器操作実習、プレゼンテーション、WEBサイト作成実習	日商簿記3級、日商簿記2級(希望者のみ)、ワードプロセッサ技士3級・2級、表計算技士3級・2級
7月 1月	高松 校	電気設備設備科	15人×2期	・電気設備、電気機器、消防設備などに関する座学 ・測定基本実習、電気設備実習、制御実習、コンピュータ実習、溶接基本実習等	第2種電気工事士(修了後受験)、消防設備士乙種第4類(修了後受験)、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、低圧電気取扱特別教育、機械保全技能検定3級(電気系保合作業)			
2 か月		7月 1月	介護サービス科	15人×2期	・介護職員初任者研修に必要な知識 ・介護職員初任者研修に必要な介護実習	介護職員初任者研修		
13学科					入校定員 394名			

高等技術学校における職業訓練の概要 (R7.4.1現在)

【求職者対象民間委託訓練】

入学金 授業料	対象者	訓練 期間	入校月	実施 年度	訓練科名	定員	訓練内容	取得可能な資格	
無料	離転職者	2年	4	高松 中讃	介護福祉科	16人	介護福祉士に必要な知識と実技習得	介護福祉士等	
			4	高松 中讃	保育科	16人	保育士に必要な知識と実技習得	保育士等	
			4	高松	美容科	5人	美容師に必要な知識と実技習得	美容師等	
			4	高松	ITシステム科	3人	IT関連業務に必要な知識と実技習得	基本情報技術者試験等	
		6か月	-	高松	介護実務者科	14人	社会福祉及び介護の実践的な知識と実技習得	介護福祉士実務者研修等	
			8	高松	WEB・プログラミング科	15人	WEB・プログラミングに関する知識・技術、データベース操作の習得	基本情報技術者試験	
		4か月	5	高松	ビジネス経理科	20人	ビジネス文書、経理に関する知識及びワープロ、表計算、データベース、インターネット基本操作に関する知識と実技習得	コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、日商簿記検定3級/2級等	
			9	高松	ビジネススキルアップ科	15人	ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット基本操作に関する知識習得及びビジネスの実践的スキル習得	マイクロソフトオフィススペシャリスト ワード、エクセル、パワーポイント	
			-	高松	ITクリエイター科	15人	IT関連業務に必要な知識と実技習得	PHP技術者認定試験、Webライター能力認定試験(スクラード)等	
			2	高松	PHPプログラミング科	15人	PHPプログラミングに関する知識・技術、データベース操作	PHP技術者認定試験 等	
		3か月	-	中讃	介護初任者科	18人	介護、介護事務に関する知識と実技習得	介護職員初任者研修、福祉用具専門相談員等	
			5, 8, 11, 3	高松 中讃	○A医療事務科	16人×3期 16人×1期	医療事務、医事コンピュータに関する知識習得	メディカルクラーク、メディカルオペレータ、ドクターズクラーク	
			11, 12	高松 中讃	○A経理事務科	16人×1期 16人×1期	経理事務、パソコンに関する知識習得	日商簿記3級、コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級/2級、表計算部門3級/2級	
			6, 7, 9, 12, 1, 2	東讃 高松 中讃 西讃	ビジネスパソコン科(初級)	18人×1期 18人×2期 18人×1期 18人×1期 15人×1期	ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット基本操作に関する知識習得	コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、プレゼンテーション技能認定試験等	
			6, 11, 11	高松 中讃	ビジネスパソコン科(中級)	18人×2期 18人×1期	ワープロ、表計算、データベース、インターネットの応用操作に関する知識習得	コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級/2級、表計算部門3級/2級、マイクロソフトオフィススペシャリストワード、エクセル、アクセスエキスパート	
			6	高松	デジタルスキルアップ科(初級)	15人	デジタル分野・WEBに関する基礎的な知識、プログラミングに関する基礎的な知識・技能の習得	ITパスポート、コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級/2級等	
			-	高松	デジタルスキルアップ科(中級)	15人	デジタル分野・WEBに関する知識の習得	基本情報技術者試験 等	
			4, 9	中讃	農業科	10人×2期	農業大学校での露地野菜栽培に関する知識と技術習得 農家での現場作業体験		
			2か月	1	西讃	さぬきうどん科	10人	さぬきうどんの伝統手打ち製法及びその他調理全般の技術習得 店舗実習を通じて接客サービス及び経営知識の習得 さぬきうどんに関する知識と技術	
			1か月	8, -	高松	建設機械操作科	15人×2期	小型移動式クレーン運転技能講習、フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習	小型移動式クレーン運転技能講習、フォークリフト運転技能講習、玉掛け技能講習
		母子家庭の母等	6か月	-	高松	介護実務者科	2人	社会福祉及び介護の実践的な知識と実技習得	介護福祉士実務者研修等
			3か月	-	中讃	介護初任者科	2人	介護、介護事務に関する知識と実技習得	介護職員初任者研修、福祉用具専門相談員等
				5, 8, 11, 3	高松 中讃	○A医療事務科	2人×3期 2人×1期	医療事務、医事コンピュータに関する知識習得	メディカルクラーク、メディカルオペレータ、ドクターズクラーク
				11, 12	高松 中讃	○A経理事務科	2人×1期 2人×1期	経理事務、パソコンに関する知識習得	日商簿記3級、コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門3級/2級、表計算部門3級/2級
	障害者	3か月	7, 12	高松	○A事務科	10人×2期	ワープロ、表計算、インターネット基本操作に関する知識習得	マイクロソフトオフィススペシャリスト ワード、エクセル	
		1~3か月	随時	県下一円	実践能力習得コース	10人	企業等の作業現場で行う実践的作業実習など(訓練終了後、企業等・訓練生の合意があれば就職となります)		

22学科 入校定員 543名

\*母子家庭の母等の訓練は、離転職者訓練の中に定員枠を設けて実施

高等技術学校における職業訓練の概要 (R7.4.1現在)

【在職者対象施設内訓練】

校名	訓練科	コース名	訓練時間	訓練日数	昼・夜	定員	日程	受講料	
								テキスト代	
高松	デザイン科	デザイン講習(Photoshop CC講習)	12	3	昼	10	8/6~8 (水~金)	2,000	—
	建築システム科	Jw-cad講習(基本操作編)	12	4	夜	10	9/2~11 (火・木)	2,000	3,520
		Jw-cad講習(図面作成編)	12	4		10	10/7~16 (火・木)	2,000	—
	小計			36	11				
丸亀	金属ものづくり科	ガス溶接技能講習	14	2	昼	20	9/30・10/1 (火・水)	5,000	880
	パソコンCAD科	Auto CAD講習(作図編)	12	4	夜	15	7/22~31 (火・木)	2,000	—
		Auto CAD講習(設定編)	12	4		15	8/19~8/28 (火・木)	2,000	—
		三次元CAD講習(Inventor入門)	12	4		15	R8.2/17~2/26 (火・木)	2,000	—
	電気設備科	第二種電気工事士受験講習(筆記)	24	8	夜	30	4/17~5/22 (火・木)	3,000	1,760
		第二種電気工事士基礎講習(技能)	12	4		15	6/3~12 (火・木)	5,000	1,320
		第二種電気工事士受験講習(技能)	12	4		20	7/3~15 (火・木)	7,000	1,320
		第一種電気工事士受験講習(筆記)	24	8		20	8/26~9/18 (火・木)	3,000	3,080
		第一種電気工事士受験講習(技能)	18	6		20	11/4~11/20 (火・木)	9,000	2,640
	情報ビジネス科	社会保険制度実務講習	12	3	昼	15	9/10~9/24 (水)	2,000	1,540
		簿記検定(3級)受験講習	30	10	夜	15	R8.1/16~2/6 (月・水・金)	6,000	2,000
		パソコン講習(ビジネス活用編)	12	4		15	7/1~4 (火~金)	3,000	2,640
		パソコン講習(Excelマクロ入門)	12	4		15	10/2~7 (木~火)	3,000	2,860
	建築施工CAD科	Jw-cad講習(基本操作編)	12	4		15	5/20~29 (火・木)	2,000	—
		Jw-cad講習(図面作成編)	12	4	15	6/17~26 (火・木)	2,000	—	
	電気設備科	乙種第4類消防設備士受験講習	12	4	夜	15	12/11~23 (火・木)	4,000	2,728
	小計			242	77		275		
	総計			278	88		305		

# 訓練の実施状況について(施設内訓練)

## 入校率(令和4年度～令和7年度修了コース)

訓練課程				令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
校別	コース	期間	訓練科目	定員	入校者数	入校率	定員	入校者数	入校率	定員	入校者数	入校率	定員	入校者数	入校率
高松	技術専門	2年	電気システム科	15	9	60.0%	15	11	73.3%	15	9	60.0%	15	9	60.0%
			自動車工学科	25	25	100.0%	25	20	80.0%	25	17	68.0%	20	14	70.0%
			建築システム科	15	10	66.7%	15	10	66.7%	15	7	46.7%	15	6	40.0%
			機械システム科	10	6	60.0%	10	3	30.0%	10	4	40.0%	10	1	10.0%
	求職者向け	1年	塗装技術科	10	3	30.0%	10	2	20.0%	10	2	20.0%	10	7	70.0%
			造園科	60	34	56.7%	60	32	53.3%	60	24	40.0%	60	30	50.0%
			住まいリフォーム科	40	19	47.5%	40	19	47.5%	20	10	50.0%	R6年9月末に廃止		
求職者向け	6か月	デザイン科	20	20	100.0%	20	20	100.0%	20	20	100.0%	20	20	100.0%	
		介護サービス科	30	14	46.7%	30	17	56.7%	30	28	93.3%	30	26	86.7%	
丸亀	求職者向け	1年	電気工事科	20	9	45.0%	20	12	60.0%	R5年9月末に廃止					
			住宅建築施工科	15	11	73.3%	15	10	66.7%	R6年3月末に廃止					
	求職者向け	6か月	電気設備科	R6年1月から設定						30	10	33.3%	30	8	26.7%
			建築施工CAD科	R6年10月から設定						15	4	26.7%	30	8	26.7%
			金属ものづくり科	20	9	45.0%	20	6	30.0%	20	10	50.0%	20	6	30.0%
			パソコンCAD科	30	27	90.0%	30	26	86.7%	30	22	73.3%	30	17	56.7%
			情報ビジネス科	44	43	97.7%	44	39	88.6%	44	38	86.4%	44	38	86.4%
			ビル設備管理科	20	16	80.0%	20	15	75.0%	R6年3月末に廃止					
県立高等技術学校 合計				374	255	68.2%	374	242	64.7%	344	205	59.6%	334	190	56.9%

## 就職率(令和4年度～令和7年度修了コース)

訓練課程				令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			
校別	コース	期間	訓練科目	修了者数	就職者数	修了者就職率	修了者数	就職者数	修了者就職率	修了者数	就職者数	修了者就職率	修了者数	就職者数	修了者就職率	
高松	技術専門	2年	電気システム科	8	8	100.0%	10	9	90.0%	7	7	100.0%				
			自動車工学科	22	21	95.5%	20	20	100.0%	11	11	100.0%				
			建築システム科	9	9	100.0%	9	9	100.0%	6	6	100.0%				
			機械システム科	4	4	100.0%	1	1	100.0%	2	2	100.0%				
	求職者向け	1年	塗装技術科	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%				
			造園科	32	30	93.8%	31	27	87.1%	24	17	70.8%				
			住まいリフォーム科	17	16	94.1%	18	14	77.8%	10	8	80.0%				
求職者向け	6か月	デザイン科	19	15	78.9%	19	16	84.2%	19	16	84.2%					
		介護サービス科	12	11	91.7%	17	14	82.4%	23	22	95.7%					
丸亀	求職者向け	1年	電気工事科	8	7	87.5%	9	7	77.8%	R5年9月末に廃止						
			住宅建築施工科	8	7	87.5%	8	6	75.0%	R6年3月末に廃止						
	求職者向け	6か月	電気設備科	R6年1月に新設						9	5	55.6%				
			建築施工CAD科	R6年10月に新設						4	2	50.0%				
			金属ものづくり科	9	8	88.9%	5	5	100.0%	8	6	75.0%				
			パソコンCAD科	25	21	84.0%	22	20	90.9%	20	16	80.0%				
			情報ビジネス科	40	32	80.0%	32	20	62.5%	36	28	77.8%				
ビル設備管理科	13	6	46.2%	14	11	78.6%	R6年3月末に廃止									
県立高等技術学校 合計				228	197	86.4%	217	181	83.4%	181	148	81.8%	集計中(令和8年6月末に確定)			

※1 数値は全て修了者ベース(各年度において、修了者に着目したデータ。訓練期間が年度を跨ぐコースの計上対象は、前年度開講(当該年度修了)を含み、当該年度開講(次年度修了)を含まない。)としている。

※2 各年度の就職者数は修了年度の翌年度の6月末時点の情報としている。今年度修了分については令和8年2月末現在の入校者数を計上している。

# 訓練の実施状況について(委託訓練)

## 入校率(令和4年度～令和7年度修了コース)

訓練課程		R4年度			R5年度			R6年度			R7年度		
期間	訓練科目	定員	入校者数	入校率	定員	入校者数	入校率	定員	入校者数	入校率	定員	入校者数	入校率
2年	介護福祉科	12	11	91.7%	12	12	100.0%	14	13	92.9%	15	6	40.0%
	保育科	20	13	65.0%	18	15	83.3%	17	11	64.7%	17	6	35.3%
	美容科	7	2	28.6%	4	3	75.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%
	ITシステム科	8	-	-	6	6	100.0%	6	2	33.3%	6	2	33.3%
6か月	介護実務者科	16	13	81.3%	16	12	75.0%	16	12	75.0%	16	-	-
	WEB・プログラミング科	15	15	100.0%	15	15	100.0%	15	-	-	15	15	100.0%
	ビジネス経理科	20	20	100.0%	20	20	100.0%	20	20	100.0%	20	20	100.0%
4か月	ビジネススキルアップ科	15	12	80.0%	15	11	73.3%	15	5	33.3%	15	6	40.0%
	IT・クリエイター科	15	-	-	15	14	93.3%	15	-	-	15	-	-
	PHPプログラミング科	R7年度修了分から新設									15	-	-
3か月	介護初任者科	48	-	-	32	-	-	32	-	-	20	-	-
	OA医療事務科	72	51	70.8%	72	42	58.3%	72	29	40.3%	72	39	54.2%
	OA経理事務科	54	18	33.3%	54	18	33.3%	36	26	72.2%	36	22	61.1%
	ビジネスパソコン科(初級)	105	93	88.6%	105	84	80.0%	105	61	58.1%	90	76	84.4%
	ビジネスパソコン科(中級)	54	34	63.0%	54	38	70.4%	54	34	63.0%	54	29	53.7%
	デジタルスキルアップ科(初級)	15	15	100.0%	15	11	73.3%	15	15	100.0%	15	-	-
	デジタルスキルアップ科(中級)	R7年度修了分から新設									15	-	-
農業科	20	17	85.0%	20	17	85.0%	20	17	85.0%	20	11	55.0%	
2か月	さぬきうどん科(※)	10	10	100.0%	10	9	90.0%	10	5	50.0%	10	10	100.0%
1か月	建設機械操作科	32	-	-	32	5	15.6%	28	21	75.0%	30	10	33.3%
3か月	OA事務科	20	-	-	20	-	-	20	7	35.0%	20	-	-
-	実践能力習得コース	5	5	100.0%	7	7	100.0%	5	5	100.0%	6	6	100.0%
委託訓練 合計		617	329	53.3%	594	339	57.1%	571	285	49.9%	504	260	51.6%

## 就職率(令和4年度～令和7年度修了コース)

訓練課程		R4年度			R5年度			R6年度			R7年度		
期間	訓練科目	修了者数	就職者数	修了者就職率	修了者数	就職者数	修了者就職率	修了者数	就職者数	修了者就職率	修了者数	就職者数	修了者就職率
2年	介護福祉科	8	7	87.5%	11	9	81.8%	12	11	91.7%			
	保育科	13	9	69.2%	14	13	92.9%	9	8	88.9%			
	美容科	2	1	50.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%			
	ITシステム科	-	-	-	6	6	100.0%	2	2	100.0%			
6か月	介護実務者科	12	12	100.0%	11	11	100.0%	12	12	100.0%			
	WEB・プログラミング科	13	11	84.6%	13	7	53.8%	-	-	-			
	ビジネス経理科	17	13	76.5%	19	15	78.9%	19	10	52.6%			
4か月	ビジネススキルアップ科	10	6	60.0%	11	10	90.9%	5	5	100.0%			
	IT・クリエイター科	-	-	-	13	5	38.5%	-	-	-			
	PHPプログラミング科	R7年度修了分から新設											
3か月	介護初任者科	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	OA医療事務科	48	42	87.5%	41	32	78.0%	29	25	86.2%			
	OA経理事務科	13	9	69.2%	18	13	72.2%	23	14	60.9%			
	ビジネスパソコン科(初級)	84	63	75.0%	74	56	75.7%	57	50	87.7%			
	ビジネスパソコン科(中級)	27	25	92.6%	34	25	73.5%	30	21	70.0%			
	デジタルスキルアップ科(初級)	14	8	57.1%	10	6	60.0%	14	8	57.1%			
	デジタルスキルアップ科(中級)	R7年度修了分から新設											
農業科	16	12	75.0%	17	13	76.5%	17	10	58.8%				
2か月	さぬきうどん科(※)	10	5	50.0%	9	4	44.4%	5	1	20.0%			
1か月	建設機械操作科	-	-	-	5	4	80.0%	19	12	63.2%			
3か月	OA事務科	-	-	-	-	-	-	7	4	57.1%			
-	実践能力習得コース	5	3	60.0%	7	6	85.7%	4	4	100.0%			
委託訓練 合計		292	226	77.4%	315	237	75.2%	266	199	74.8%			

集計中(令和8年6月末に確定)

※ 各数値における計上の考え方は前頁と同様。

## 高等技術学校在職者訓練の実施状況について

【令和7年度実績】

校名	昼夜の別	訓練科名	コース名	定員	受講者	修了者	訓練開始年月日	訓練終了年月日	備考
高松	昼間	デザイン科	デザイン講習 (Photoshop CG講習)	10	4	3	R7.8.6	R7.8.8	4日間 12時間
	在職者訓練 (高松校/昼間) 計			10	4	3			
	夜間	建築システム科	Jw_cad講習 (基本操作編)	10	中止		R7.9.2	R7.9.11	4日間 12時間
			Jw_cad講習 (図面作成編)	10	中止		R7.10.7	R7.10.16	4日間 12時間
	在職者訓練 (高松校/夜間) 計			20	0	0			
在職者訓練 (高松校) 計				30	4	3			
丸亀	昼間	金属ものづくり科	ガス溶接技能講習	20	7	7	R7.9.30	R7.10.1	2日間 14時間
		情報ビジネス科	社会保険制度実務講習	15	20	18	R7.9.10	R7.9.24	3日間 12時間
	在職者訓練 (丸亀校/昼間) 小計			35	27	25			
	夜間	電気工事科	第二種電気工事士受験講習 (筆記)	30	15	11	R7.4.17	R7.5.22	8日間 24時間
			第二種電気工事士基礎講習 (技能)	15	15	12	R7.6.3	R7.6.12	4日間 12時間
			第二種電気工事士受験講習 (技能)	20	20	19	R7.7.3	R7.7.15	4日間 12時間
			第一種電気工事士受験講習 (筆記)	20	9	6	R7.8.26	R7.9.18	8日間 24時間
			第一種電気工事士受験講習 (技能)	20	9	9	R7.11.4	R7.11.20	6日間 18時間
		建築施工CAD科	Jw_cad講習 (基本操作編)	15	7	4	R7.5.20	R7.5.29	4日間 12時間
			Jw_cad講習 (図面作成編)	15	中止		R7.6.17	R7.6.26	4日間 12時間
		パソコンCAD科	Auto CAD講習 (作図編)	15	8	8	R7.7.22	R7.7.31	4日間 12時間
			Auto CAD講習 (設定編)	15	5	5	R7.8.19	R7.8.28	4日間 12時間
			Auto CAD講習 (Inventor入門)	15	中止		R8.2.17	R8.2.26	4日間 12時間
		情報ビジネス科	パソコン講習 (ビジネス活用編)	15	13	11	R7.7.1	R7.7.4	4日間 12時間
			パソコン講習 (Excelマクロ入門)	15	15	13	R7.10.2	R7.10.7	4日間 12時間
簿記検定 (3級) 受験講習			15	7	7	R8.1.16	R8.2.6	10日間 30時間	
ビル設備管理科	乙種第4類消防設備士受験講習	15	中止		R7.12.11	R7.12.23	4日間 12時間		
在職者訓練 (丸亀校/夜間) 小計			240	123	105				
在職者訓練 (丸亀校) 計				275	150	130			
在職者訓練 計				305	154	133			

令和8年度高等技術学校施設内訓練計画表

校別	令和8年度訓練				
	科名	対象者	定員	訓練期間	入校月
高松校	電気システム科	新規高卒者及び 40歳未満の離転職者  【技術専門コース】	15人×2	2年	4月
	自動車工学科		20人×2	2年	4月
	建築システム科		15人×2	2年	4月
	機械システム科		10人×2	2年	4月
	塗装技術科	新規中卒者及び 離転職者  【求職者向けコース】	10人×1	1年	4月
	造園科		30人×2	6か月	4月 ・10月
	デザイン科		10人×2	6か月	4月 ・10月
	介護サービス科		15人×2	2か月	7月・1月
丸亀校	電気設備科	新規中卒者及び 離転職者  【求職者向けコース】	15人×2	6か月	7月・1月
	建築施工CAD科		15人×2	6か月	4月 ・10月
	金属ものづくり科		5人×4	6か月	4月・7月 10月・1月
	パソコンCAD科		15人×2	6か月	4月 ・10月
	情報ビジネス科		22人×2	6か月	4月 ・10月
総定員			394人		

※ R7年度から変更なし

## 令和8年度 在職者訓練(キャリアアップコース) 計画

校名	訓練科	コース名	訓練時間	訓練日数	昼・夜	定員	日程	受講料		
								テキスト代		
高松	デザイン科	デザイン講習(Photoshop CC講習)	12	3	昼	10	8/5~7 (水~金) 13:10~17:00	<b>2,500</b>	—	
	建築システム科	Jw-cad講習(基本操作編)	12	4	夜	10	9/1~10 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	未定	
		Jw-cad講習(図面作成編)	12	4		10	10/6~15 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	未定	
		小計		36		11		30		
丸亀	金属ものづくり科	ガス溶接技能講習	14	2	昼	20	10/1・2 (木・金) 8:30~17:00	<b>6,000</b>	880	
	パソコンCAD科	Auto CAD講習(作図編)	12	4	夜	15	7/21~30 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	—	
		Auto CAD講習(設定編)	12	4		15	8/18~8/27 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	—	
		三次元CAD講習(Inventor入門)	12	4		15	R9.2/9~2/25 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	未定	
		電気設備科	第二種電気工事士受験講習(筆記)	24		8	30	4/16~5/19 (火・木) 18:00~21:00	<b>4,000</b>	1,760
	電気設備科	第二種電気工事士基礎講習(技能)	12	4	15	6/2~11 (火・木) 18:00~21:00	5,000	1,320		
		第二種電気工事士受験講習(技能)	12	4	20	7/2~14 (火・木) 18:00~21:00	<b>8,000</b>	1,320		
		第一種電気工事士受験講習(筆記)	24	8	20	8/25~9/17 (火・木) 18:00~21:00	<b>4,000</b>	3,080		
		第一種電気工事士受験講習(技能)	18	6	20	10/29~11/19 (火・木) 18:00~21:00	<b>10,000</b>	2,640		
	情報ビジネス科	社会保険制度実務講習	12	3	昼	15	10/14~28 (水) 13:10~17:00	<b>2,500</b>	1,540	
		簿記検定(3級)受験講習	30	10	夜	15	R9.1/22~2/12 (月・水・金) 18:00~21:00	<b>7,000</b>	2,000	
		パソコン講習(ビジネス活用編)	12	4		15	6/30~7/3 (火~金) 18:00~21:00	3,000	2,640	
		パソコン講習(Excelマクロ入門)	12	4		15	10/1~6 (木~火) 18:00~21:00	3,000	2,860	
	建築施工CAD科	Jw-cad講習(基本操作編)	12	4		15	5/19~28 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	未定	
	建築施工CAD科	Jw-cad講習(図面作成編)	12	4	15	6/16~25 (火・木) 18:00~21:00	<b>2,500</b>	—		
		電気設備科	乙種第4類消防設備士受験講習	12	4	15	12/8~17 (火・木) 18:00~21:00	4,000	2,728	
	小計			242	77		275			
	総計			278	88		305			

※R7年度からの変更箇所を太字下線で示す

## 第11次香川県職業能力開発計画の概要

### 1 趣旨

人口減少・少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による人材不足問題のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会全体のデジタル化の加速や職業人生の長期化・多様化など、労働者を取り巻く環境が大きく変化していく中、本県経済の持続的発展を図っていくためには、地域・産業ニーズと社会経済システムの変化を踏まえた人材育成を行うとともに、「全員参加型社会」の実現に向けた多様な職業能力開発の機会を提供することが重要となっており、こうした人材の確保・育成を図るための職業能力開発に係る施策を計画的かつ効果的に進めるため、本計画を策定するものである。

### 2 計画の位置付け

本計画は、職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）に基づき策定するもので、国が策定した「第11次職業能力開発基本計画」の趣旨を踏まえつつ、県政運営の基本指針である「『みんなで作るせとうち田園都市・香川』実現計画」や戦略的な産業振興の指針である「香川県産業成長戦略」との整合性を図り、本県の職業能力開発施策の今後5年間の方向性を示すものとする。

（都道府県職業能力開発計画等）

第7条 都道府県は、職業能力開発基本計画に基づき、当該都道府県の区域内において行われる職業能力の開発に関する基本となるべき計画（以下「都道府県職業能力開発計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

- 2 都道府県職業能力開発計画においては、おおむね第5条第2項各号に掲げる事項について定めるものとする。
- 3 都道府県知事は、都道府県職業能力開発計画の案を作成するに当たっては、あらかじめ、事業主、労働者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。
- 4 都道府県知事は、都道府県職業能力開発計画を定めたときは、遅滞なく、その概要を公表するよう努めるものとする。

（略）

（職業能力開発基本計画）

第5条 （略）

- 2 一 技能労働力等の労働力の需給の動向に関する事項
- 二 職業能力の開発の実施目標に関する事項
- 三 職業能力の開発について講じようとする施策の基本となるべき事項

（略）

### 3. 計画の考え方

- 今後5年間に於いて、県が実施すべき職業能力開発に関する施策等を明確にし、公共職業訓練や民間における職業訓練の推進を図るため、基本となるべき事項を定めるものとする。
- 本計画の策定に先立ち、職業能力開発に係る地域の実情、ニーズの把握のため、県内事業所、在職者、求職者等を対象に「職業能力開発基礎調査」（調査基準日：令和2年11月1日）を実施した。

### 4. 計画概要

#### ●香川の現状

##### 職業能力開発を取り巻く環境

- 人口減少に伴う労働力不足…平成11年の約103万人をピークに減少
- 求人・求職のミスマッチ…建設・土木、介護サービス等人手不足業種の顕在化
- 新型コロナウイルス感染症の影響の下での社会全体のデジタル化の加速
- 女性の年齢階層別有業率…M字カーブの底値は30代前半の72.4%
- 若年労働力人口が減少傾向にある中での若年無業者等の高どまり…フリーター136万人（R2年）、ニート69万人（R2年）（全国推計）
- 職業人生の長期化傾向…60歳から64歳までの就業率66.9%（※H29年就業構造基本調査（香川県分）から）
- 障害者の法定雇用率が未達…実雇用率2.08%（R2年）
- 外国人労働者の増加…10,422人（R2年）前年比2.4%増（R1年：10,174人）
- 事業所における技能継承の問題の有無…「ある」「今後発生する」を合わせると71.5%と高い（※R2年度職業能力開発基礎調査結果から）

#### ●課題と方向性

- 公共職業訓練における企業ニーズと訓練ニーズを踏まえた職業訓練の充実・強化
- 民間が行う人材不足分野における職業訓練への支援
- 社会のデジタル化に応じた職業訓練におけるデジタル人材の育成
- 非正規労働者に対する職業能力の向上を促進
- 女性に対する多様な職業訓練等の機会の提供と訓練環境の整備
- 若者等に対する早期就職、職業的自立に向けた支援
- 中高年者の強みを発揮する職業能力開発の推進
- 障害者の障害特性やニーズに応じた環境の整備と効果的な職業訓練の実施
- 外国人技能実習制度の適正かつ円滑な推進
- 優れた技能の社会的評価や価値の向上、次世代技能者の育成と技能の継承
- 職業能力開発関係機関との連携強化と役割分担

#### ●基本方針

- 1 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力開発の推進
- 2 「全員参加型社会」の実現に向けた職業能力開発の推進
- 3 技能の振興・継承の促進
- 4 職業能力開発実施体制の見直しと関係機関との連携強化

## ●職業能力開発の基本施策

### 1 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力開発の推進

#### ① 公共職業訓練における訓練内容の充実・強化

- ・ 県立高等技術学校の施設内訓練や在職者訓練における企業ニーズと訓練ニーズを踏まえた訓練内容の充実・強化
- ・ 民間教育訓練機関を活用し、デジタル人材の育成など社会経済システムに対応した職業訓練と、介護など人材不足分野における職業訓練の充実・強化

#### ② 民間職業訓練に対する支援

- ・ ものづくりを中心とした職業訓練や人材不足分野のうち建設分野の職業訓練に対する支援

#### 【目標とする指標】

●訓練修了生の就職率（委託訓練含む。）	令和2年度実績	79.1%	⇒	80.0%（令和7年度）
●訓練修了生の訓練関連就職率（委託訓練含む。）	令和2年度実績	58.7%	⇒	65.0%（令和7年度）

### 2 「全員参加型社会」の実現に向けた職業能力開発の推進

#### ① 非正規労働者の職業能力開発の推進

- ・ 安定した就職を促進するための職業能力開発への支援

#### ② 女性の職業能力開発の推進

- ・ 女性が活躍するための職業能力開発への支援と訓練環境の整備

#### ③ 若者等の職業能力開発の推進

- ・ 県立高等技術学校における学卒者向け職業訓練の充実・強化
- ・ 地域若者サポートステーション等における若年無業者等への支援の強化

#### ④ 中高年齢者の職業能力開発の推進

- ・ 中高年齢者のキャリア形成や再就職に向けた支援

#### ⑤ 障害者の職業能力開発の推進

- ・ 障害者の障害特性やニーズに応じた効果的な職業能力開発への支援

#### ⑥ 外国人の職業能力開発の推進

- ・ 外国人技能実習制度に係る関係機関との連携と適正な職業能力開発への支援

#### 【目標とする指標】

●女性入学率（委託訓練を含む。）	令和2年度実績	63.6%	⇒	64.0%（令和7年度）
●地域若者サポートステーションでの進路決定者数（過去5年間の累計）	令和2年度実績	433人	⇒	450人（令和7年度）
		(H28年度～R2年度までの累計)		(R3年度～R7年度までの累計)

### 3 技能の振興・継承の促進

#### ○優れた技能の社会的評価や価値の向上、次世代技能者の育成と技能の継承

- ・「ものづくりマイスター」等による子どもや若者へのものづくりの魅力の周知
- ・優れた技能者や職業訓練功労者への表彰
- ・技能グランプリ、アビリンピック、若年者ものづくり大会等、
- ・技能検定制度の普及促進と適正な実施
- 全国技能競技大会への参加支援

#### 【目標とする指標】

- 技能検定受検申請者数（基礎級を除く。）                      令和元年度実績（※） 1,072人 ⇒ 1,200人（令和7年度）

※令和2年度における技能検定は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期試験が中止となったため、令和元年度の実績を基本とする。

### 4 職業能力開発実施体制の見直しと関係機関との連携強化

#### ① 県立高等技術学校の訓練内容の見直しとあり方の検討

- ・地域産業の訓練ニーズ等に応じた訓練内容等の見直しと指導体制の検討
- ・就労支援体制の充実と職場定着の促進
- ・職業能力開発施設としてのあり方の検討

#### ② 関係機関との連携強化

- ・効果的な職業能力開発施策の実施に向けた国、香川県職業能力開発協会、業界団体、教育機関等との連携強化

●計画の期間      令和3年度から令和7年度までの5年間

●計画の進行管理      毎年、「香川県職業能力開発審議会」に報告し、点検・評価を実施

第11次香川県職業能力開発計画 数値目標(進行管理)

目標項目		単位	基準値 (令和2年度)	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標値	
1	高等 技術 学校	訓練修了者の就職率 (委託訓練を含む)	%	79.1	77.9	81.3	78.6	77.6	80.0
2		訓練修了者訓練関連就職率 (委託訓練を含む)	%	58.7	63.1	65.2	59.8	57.9	65.0
3		女性入校率(委託訓練を含む)	%	63.6	61.7	61.3	62.5	60.0	64.0
4	上記 以外	地域若者サポートステーションでの 進路決定者数(過去5年累計)	人	433 (87/年)	373	368	401	382	450 (90/年)
5		技能検定受検申請者数 (基礎級等を除く)	人	1,072(※)	1,201	1,118	993	1,090	1,200

※令和2年度における技能検定は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期試験が中止となったため、令和元年度の実績を基準値とする。

注) 1は、「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画 における指標である。

## 香川県立高等技術学校あり方検討委員会の概要

- 高等技術学校が現在地に建設されてから、高松校は60年、丸亀校は46年が経過し、施設や設備の老朽化が進む中での学校施設全体の整備の方向性に加え、地域・産業ニーズと社会経済システムの変化を踏まえた、県内産業界が求める人材を安定的に輩出できる訓練内容や規模などを検討するため、検討委員会を設置。


### これまでの開催日程

	開催日
第1回	令和7年5月27日(火)
第2回	令和7年10月24日(金)
第3回	令和8年2月26日(木)

### (参考)施設の現状について

- **高松校は平成24年度から26年度に主要8施設のうち7施設に耐震改修を行っているものの、5施設が築60年を経過し、施設の老朽化が著しい。**

建物内の配線の鞘管の腐食、配線の被覆の硬化・ひび割れなども目立ってきており、躯体は一定の耐震性を有するものの、**訓練を安全かつ効果的に実施していく観点から、老朽化への対応は喫緊の課題である。**

建物名称	状況(例)
南実習棟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が多いときに、屋根や壁、シャッターなどから<b>雨漏りが発生</b></li> <li>・夏は<b>室内の温度が40度近くまで上がる</b>ことがある</li> <li>・壁の下の<b>コンクリート部分にひび割れ</b>や塗装のはがれがある</li> <li>・<b>床にも多数のひび割れ</b>がある</li> <li>・屋根の雨どいや、雨水を流すパイプ、それを支える金具が古くなっている</li> </ul>
	屋根からの雨漏り  他多数

- **丸亀校については、主要な校舎は昭和50年代に整備され、校内には、本館と4カ所の実習場の5施設がある。R7年度は屋上防水の改修を行うなど、適宜修繕を行っており、現時点で改築が直ちに必要な状況ではなく、**適時に修繕・改修(空調、トイレの洋式化)を行いながら使用していく**という状態である。**

(参考)香川県立高等技術学校あり方検討委員会委員名簿

区分	氏名	役職等
学識経験者	重田 和弘	香川高等専門学校 教授
	西中 美和	香川大学大学院地域マネジメント研究科教授
行政関係	梶島 岳夫	四国職業能力開発大学校 校長
	西村 憲幸	香川職業能力開発促進センター 所長
	橋本 和之	香川県教育委員会 高校教育課長
	由佐 満美子	香川労働局職業安定部 訓練課長
関係団体	岡 興司	香川県中小企業団体中央会 専務理事
	白石 幸一	香川県経営者協会 専務理事
	新池 伸司	香川県商工会議所連合会 専務理事
	立石 猛	日本労働組合総連合会香川県連合会 事務局長
	森岡 英司	香川県商工会連合会 専務理事
	山田 守	一般社団法人 香川県専修学校各種学校連合会 事務局長

# 香川県立高等技術学校あり方検討委員会の概要

## 第1回あり方検討委員会

- 5月27日に開催した第1回の検討委員会では、
  - ・ 高松校は施設の老朽化が著しく、訓練の安全かつ効果的な実施のため、対応は喫緊の課題となっている
  - ・ 丸亀校は、高松校に比べれば比較的新しく、現時点では改築が直ちに必要な状況ではなく、随時、修繕を行い、今後も使用していく
  - ・ 国や民間教育機関との役割分担については、民間教育機関と一部コースで重複はあるが、訓練内容や地域ごとに適切な役割分担ができていくこと
  - ・ 高等技術学校の訓練需要については、入校者動向や人口推計、大規模事業所の立地などから、今後も高松校・丸亀校ともに訓練需要は見込まれることを説明した。
- これらの説明を踏まえて、委員の皆様にご審議をいただき、
  - ・ 高等技術学校のうち高松校は建替えを行い、丸亀校は随時、修繕を行いながら、今後も使用していくという方向性で、今後の議論を進めることについて了承いただいた。

## 第2回あり方検討委員会

- 10月24日に開催した第2回の検討委員会では、
  - ・ 県内の事業所や求職者などを対象として実施したアンケート調査では、高齢者、障害者や女性などの多様な人材について、様々な分野で活躍が期待されていることや、様々な職種でデジタル技術の知識・スキル習得のニーズがあること、企業と在職者の双方において能力開発の必要性が高まっていること
  - ・ 他県での事例調査では、企業ニーズに合わせ、新技術に対応した訓練の導入や在職者訓練の見直しを行っていることや、通常の訓練の前段階として多様な職種を短期間で体験できる訓練科を導入していることを説明し、
- 調査結果などを踏まえて高等技術学校における訓練の方向性として、
  - ① 女性・シニア・障害者など多様な人材の活躍や多様な職種への就業を目指した訓練の充実・強化を図ること
  - ② 地域・社会ニーズや社会経済システムの変化、さらには高等技術学校の果たすべき役割を踏まえた訓練の充実・強化を図ること
  - ③ リスキングの観点から、企業ニーズに応じた在職者訓練の充実・強化を図ること
 を県の方から提案し、委員の皆様にご了承いただいた。
- また、高等技術学校の一部の訓練科(自動車工学科)が民間専門学校と競合していることから、今回のあり方検討委員会の中で、改めて役割分担について検討する必要があるとの意見も出された。
- これに対し、他の委員からは、自動車整備士の育成において、高等技術学校と民間専門学校が果たす役割は大きく、自動車整備士が不足している状況もあることから、人材育成に努めてほしい、また、経済的に厳しい家庭の高校生の卒業後の県内進路の選択肢の一つとして必要であるといった意見が出された。

# 香川県立高等技術学校あり方検討委員会の概要

## 第3回あり方検討委員会

- 2月27日に開催した第1回の検討委員会では、
  - ・ **高等技術学校再編整備の基本方針(素案)を事務局から提示**
- 委員の皆様にご審議をいただき、
  - ・ 本県ならではの、ものづくりの技術を次世代に伝えることが重要であることから、退職者にシニアアドバイザーとして活躍してもらうなど、現場感覚を持つ人材が次世代の技術者育成に携わる仕組みを検討してほしい
  - ・ 訓練生がインターンシップのように、一定期間、企業での実地研修に参加するなど、企業との連携による人材育成を検討してほしい
  - ・ 在職者訓練については、働きながら学べるということが重要なので、土曜日や日曜日、夜間での開講も検討してほしい
  - ・ 訓練科を検討する際には、民間専門学校と競合しないように慎重に対応してほしい
  - ・ 10年先、20年先を見据えると、社会ニーズや求められる人材は大きく変化していくことが想定されるため、社会の変化に応じて訓練コースなどを柔軟に見直しができるような仕組みを検討してほしい

という意見をいただいた。

## 高等技術学校再編整備の基本方針

※ 別紙参照

## 今後のスケジュール

- 来年度は、この「高等技術学校再編整備の基本方針」に基づき、具体的な施設や訓練科の見直し内容を盛り込んだ「基本計画」を策定したいと考えており、令和8年度に開催する「香川県職業能力開発審議会」にて、委員の皆様に進捗をご説明してまいりたいと考えている。

# 高等技術学校再編整備の基本方針(案)

## 1 現状と課題

人材確保の重要性が増す一方、高等技術学校は施設の老朽化の課題もあり、十分な技能人材の供給機能を果たせていない。

### (1) 社会現状、産業界・地域社会のニーズ

- ・ 現在、県内ものづくり分野では生産工程従事者の求人倍率が約2.5倍と高い一方で、今後15年で将来の担い手である高校1年生の人数は現在の6割程度まで減少する見通しである。
- ・ また、令和7年度に県内企業を対象として実施した調査では、「労働者の定年退職等による技能継承に関する問題がありますか」との問いに対し、「ある」と回答した割合が令和2年度と比べ約20%増加している。
- ・ こうした状況の中、県内ものづくり産業を支える人材確保と技能継承の重要性がさらに高まっており、多様な人材育成や教育機会の拡充(再教育を含む)が急務となっている。

### (2) 高等技術学校の現状

- ・ 高松校と丸亀校の2キャンパス体制で、ものづくり分野を中心に計13コースを設置。高松校では将来を担う若年者、丸亀校では再就職を目指す求職者が主な訓練対象となっている。
- ・ 高松校は校舎及び実習場の8施設を有しているが、その半数以上が築60年を超え、施設の老朽化が著しい。
- ・ 丸亀校は校舎及び実習場の5施設を有しているが、昭和50年代以降に整備されており、適宜修繕しながら利用している。
- ・ 両校の最近の年間入校者数は約200名で、入校率は60%前後と定員に対して十分な機能を果たしていない状況である。

### (3) 関係機関との連携状況

- ・ 国からは、官民の役割分担を踏まえるべきとの方針が示されており、訓練科目について民間施設と役割分担を図る必要がある。

## 2 高等技術学校の役割

持続的な人手不足に対応し、地域産業の発展を支えるため、高等技術学校は民間教育機関を含めた他の訓練機関との連携及び役割分担を踏まえ、民間では実施が難しいものづくり分野における、人材の育成拠点としての役割を引き続き果たすことが求められている。

### 【今後の役割と取り組み】

- 県内全域の訓練需要への対応
- 産業界が求める多様な人材ニーズや、先進的な技術の習得に対応した訓練の実施
- 企業の現場ニーズに応じた在職者向けスキルアップ訓練の充実
- 国(ポリテクカレッジ・センター)、専門学校などとの役割分担による地域ものづくり人材の効果的な育成

## 3 施設の見直しの方向性

### (1) 高松校の建替え

- ・ 老朽化への対応と学校の魅力向上のため、老朽化が著しい高松校は主要施設の建替えを実施

### (2) 丸亀校の施設の維持と計画的な改修

- ・ 中讃・西讃地域の受講ニーズと企業ニーズに応えるため、丸亀校は現在の施設を維持しつつ、必要な部分については計画的に改修を実施

### (3) 最新設備・機器の整備

- ・ 時代の変化に即したものづくり人材が育成できる施設・設備・訓練機器の整備

### (4) 快適な訓練環境の整備

- ・ 継続して使用する施設(丸亀校等)における快適な訓練環境(空調・洋式トイレ等)の整備

# 高等技術学校再編整備の基本方針(案)

## 4 訓練科の見直しの方向性

高等技術学校に求められる役割を果たしていくため、産業界及び利用者両者のニーズを十分に考慮し、以下の見直しを実施する。なお、今後も常に最新のニーズ動向の把握に努め、適時見直しを進めていくことが必要となる。

### (1) 多様な人材の活躍を目指した訓練の充実・強化

- 「人生100年時代」を見据え、技術専門コースにおける年齢制限(40歳未満)を撤廃し、ミドル層やシニア層などの幅広い年代の求職者も積極的に受入れる体制を整備する。
- これまで「ものづくり分野」に接点の少なかった女性・高齢者・障害者等の求職者が入校するきっかけづくりにもつながるよう、通常の訓練へ進む前の導入段階として、短期間で多様な職種を体験できる訓練コース(ジョブセレクト科)等を導入する。

### (2) 時代の変化等に即した訓練の充実・強化

- 技術革新が進む「ものづくり分野」では、デジタル技術と連動した最新の設備や機器が導入されていることが多いため、それを使いこなせる訓練を充実・強化させる。

### (3) 在職者の能力向上を目指した訓練の充実・強化

- 技術革新に対応するため、企業と在職者の双方が求めるニーズや地域産業の特性に合わせた在職者訓練コースの設置を検討するとともに、働きながら学びやすくするため、仕事と訓練の両立がしやすいカリキュラムを充実・強化させる。

## 5 運営体制の方向性

施設や訓練科の見直しのためには、学校の運営体制についても全般的な整備と強化が求められる。

### 【目指すべき運営体制の方向性】

- 多様な人材に対しきめ細かな指導を行うため、若年人口の減少やリスキングの需要を踏まえた適切な訓練生の定員数の設定や指導員の計画的な確保
- 技術革新に対応した訓練実施のため、計画的な指導員の育成
- 就職支援や個別相談、キャリア形成のアドバイスなど、多角的なフォロー体制の充実など、訓練生へのきめ細かな支援
- 関係機関との連携を一層強化し、訓練生へのサポート体制を拡充

## 6 今後のスケジュール

### (1) 令和8年度

- ・ この基本方針に基づき、令和8年度に、施設や訓練科の具体的な内容を盛り込んだ基本計画を策定

### (2) 令和9年度以降

- ・ 基本計画に基づき
  - ① 基本設計
  - ② 実施設計
  - ③ 工事を行っていく。

(※) スケジュールについては、現時点での見込みであり、今後変更の可能性はある。

## 次期「第12次香川県職業能力開発計画」の策定について

### 1 第12次香川県職業能力開発計画

現在、国において、第12次職業能力開発計画を策定しているところであり、香川県においても、第11次香川県職業能力開発計画の期間が令和7年度までであることを踏まえ、職業能力開発促進法第7条第1項の規定に基づき「第12次香川県職業能力開発計画」（計画期間：令和8年度～12年度）を策定していく。

### 2 計画策定について

計画策定に当たっては、令和8年度に3回程度審議会を開催し、香川県職業能力開発審議会委員の御意見をお伺いしながら、策定に向けた作業を進めていきたいと考えている。